

## 平成31年度事業計画について

平成30年度は第2次中期事業計画の初年度であり、事業実施計画の具体化を検討しながら事業を推進してきた。またふくい健康の森の管理運営事業においては指定管理者更新に伴う申請をした結果、次期5年間においても当協会が指定を受け引き続き管理運営することとなった。しかしながら、基幹事業であるがん検診は国の方針や指針の変更等に伴い年々厳しい状況にあり、当協会を取り巻く環境の変化にあわせ、実施計画を見直しながら柔軟に対応していく必要がある。

このような状況を踏まえ、平成31年度では、がん検診事業において、効果的な受診促進や勧奨事業に取り組み、受診者減少への対策を行う。また国の目指す精密検査受診率の向上について、県や市町と協力し受診率90%を目指していく。

健康の森管理運営事業では施設や設備の老朽化が進む状況の中で、安全で安心な施設管理運営を維持するとともに、少子高齢化を踏まえ運営施設の利活用や認知度向上に努めることで利用者の確保に努める。とくに、4月よりスケートパークをはじめとした新施設が供用される健康スポーツ公園を活用し、若年層の利用増に取り組む。また利用者層に応じた各種教室の提供や施設利用の強化に努め、幅広い年齢層が健康づくりの場として楽しめる施設づくりに取り組む。

### 1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づき、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組むとともに、必要な情報の提供等を行う。

事業経費（総額）600,230千円

#### (1)がん検診事業

##### ① 精度管理の維持・向上

がん検診の信頼性・実効性を担保する精度管理の重要性を踏まえ、その一層の向上に努める。

- ・肺がん 精検報告書 新基準への対応
- ・胃がん ワークステーション更新
- ・乳がん 責務研修会用シャ-カステン整備

##### ② 受診者確保事業

H30に県と実施した受診者調査の分析結果に基づいて、集団検診の減少への対策を実施する。

- ・イベント会場や市町検診会場において広域的に集団検診実施（関係機関と連携）
- ・大腸がん検診の受診率向上（イベントでの容器配布、未提出者への勧奨による回収強化）

##### ③ 精密検査受診促進事業

国の掲げる精密検査受診率90%を目標に、県や市町と協力し受診促進に努める。

- ・精検対象者への受診を促すチラシの同封（肺がん、大腸がん）
- ・医療機関からの精検受診結果報告の回収強化

	31年度計画（人）			30年度見込み（人）		
	集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦
胃がん	10,000	6,700	—	11,800	8,600	—
子宮がん	11,700	14,700	5,300	10,700	14,100	5,200
乳がん	12,800	8,000	—	11,700	8,000	—
肺がん	X線	33,600	17,000	—	34,500	17,800
	喀痰	400	200	—	300	200
大腸がん	38,000	15,000	—	36,600	15,500	—
計	106,500	61,600	5,300	105,600	64,200	5,200
合計	173,400			175,000		

## (2) がん検診受診勧奨事業

県内市町のがん検診の未受診者対象者や精検未受診者、特定健診未受診者に電話等で受診の勧奨を実施する。

対象者数 : 22,000人(30年度見込 19,000人)

## (3) 健康情報発信事業

がんをはじめとする健康に関する正しい情報の発信・普及啓発に努める。また福井県の健康情報発信の拠点を目指し、発信する情報の拡大、内容充実を行い、協会の認知度向上を図る。

・協会ホームページやがんネットふくいの健康情報ポータルサイト化

(県内のがん統計、感染症情報、がん教育情報、食事や運動に関する情報等をリンク掲載)

## (4) 健康診査事業

精度管理、施設安全管理に努め健康診査を実施する。受診者意見や要望を積極的に把握し、健診内容の充実、利用者の利便性向上に努め、利用者増を図る。

### ① 確実な検診業務の実施

- ・特定保健指導の実施保険者の拡大
- ・雇入れ健診の受入れ開始(システム改修)
- ・ハンディキャップ者の受診ができるよう健診相談窓口の設置(バリアフリー化)

### ② 健診内容の充実、利用者の利便性向上

- ・オプション検査の増加へ向け、ポスター掲示やチラシ作成による積極的な勧奨
- ・健診時間の短縮を目指し、チームによる業務効率化の検討
- ・健診予約の空き状況をホームページにリアルタイムに掲載(システム構築)

コース名	31年度計画(人)	30年度見込(人)
総合健康コース	1,250	1,170
一般健診	3,110	3,130
特定健診	20	20
特定保健指導	250	210
その他の健診	620	500
計	5,250	5,030

## (5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に、県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。また健診受診後のフォローアップに関する相談窓口としても活用する。

利用人数 : 1,250人(30年度見込 1,230人)

## (6) 啓発・キャンペーン事業

### ① がん征圧月間(9/1~30)・結核予防週間(9/24~30)の取組み

他団体や企業と連携協力し、がん征圧月間広告等の掲示依頼、がん征圧月間ポスターや結核予防ポスター等の配布、パネル展開催、マスコミを利用した広告、広報活動等を実施する。

### ② 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェアへの参加を通じ、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。

### ③ 関係機関、団体等との連携

医師会やピンクリボンの会(ピンクリボンキャンペーン)などの啓発活動に参画、協力を行う。

- ④ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動  
リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくいを開催し、積極的な募金活動と啓発活動を行う
- ⑤ 講演会・研修会の開催  
市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に専門的な研修会を開催し、専門分野に関する情報提供をする。

## 2. 健康づくり・体力づくり・生きがいくづくり推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいくづくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行う。新たな指定管理の1年目として、県民健康センターでは他施設やイベントを活用した新教室、スポーツセンター・生きがい交流センターでは、年齢層に合わせた教室や利用料の変更等により、身近な施設づくりによる利用者増を目指す。

事業経費（総額） 406,030千円

### (1) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざして健康増進各種教室を実施する。新たな指定管理にあわせ、イベント時に対象を絞った新規健康づくり教室を展開し、効率の良い集客と新規利用者の確保を目指す。また作業療法士による地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施する。

利用者数： 3,230人（30年度見込：3,200人）

### (2) 運動プログラム指導事業・体力づくり教室事業（けんこうスポーツセンター）

個人の健康づくりへの支援として、個別運動プログラムの発行や3か月減量講座等を実施し、きめ細かなアドバイスを行う。また年齢層毎に対象者を設定した教室の提供と、随時利用者ニーズの把握による内容更新を実施する。

- ・運動プログラム指導 利用人数：7,950人（30年度見込：7,900人）
- ・体力づくり教室 フレイル予防教室他 利用人数：62,500人  
（30年度見込：62,200人）

### (3) 生きがいくづくり推進事業（生きがい交流センター）

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいくづくりに取り組めるよう、県老人クラブ連合会や他施設との連携による各種教室を開催する。また送迎プランの実施と利用拡大にむけ、積極的にPR活動に取り組む。

認知症講座、脳トレ教室（高齢者対象） 他

利用人数：11,160人（30年度見込 10,500人）

### (4) 施設の提供事業

県民の健康づくりの総合施設として、各施設において健康づくり・体力づくり・生きがいくづくりの機会と場を提供する。また安全安心な施設の管理運営に努める。

- ① 各施設運営の改善  
利用者の意見を反映した環境づくりに努め、利用者に快適な施設環境の提供に努める。スポーツセンター・生きがい交流センターの入館料について、高校・大学生向けに学生割引制度を新たに導入し、若年層の利用増を図る。
- ② 施設の提供  
会議室等の施設貸出において料金を引き下げ、利用モデルプランとともに周知活動に努める。特に、公園の新施設を生かし、健康の森の認知度向上と利用者増加を目指す。

(県民健康センター)

健康増進を目的とした会議室や研修室等の貸出、がん教育やイベント教室等でのエントランスホールや運動指導室の利活用に努める。

利用者数：1,400人(30年度見込：1,230人)

(けんこうスポーツセンター)

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設を効果的に活用し楽しみながら運動を実践できる場を提供する。新たに整備されたスケートパーク、ウォーキングコース、ファミリー広場においては、大会誘致や利用モデルプランの提案により新たな利用団体の獲得に努める。さらに新公園の営業時間に合わせた開館時間延長および入館料の学生割引により利用者増加を図る。

内 容	31年度計画(人)	30年度見込(人)
スポーツセンター・温水プール	202,000	202,000
スポーツ公園	82,500	72,000
計	284,500	274,000

(生きがい交流センター)

「健康の森温泉」として、季節の替わり湯や送迎バスの提供により温泉としての魅力を高める。あわせて公園来場者や近隣地域への直接的なアピールによる誘客や、公園利用セットプランの提供による利用者確保に努める。また、全日営業の期間延長(1月から3月末まで実施)、団体利用料金の新設、学生割引、施設貸出料金の引き下げにより利用者増加を図る。

内 容	31年度計画(人)	30年度見込(人)
健康の森温泉	143,000	137,000
交流ホール等	8,250	6,700
計	151,250	143,700

### 3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費(総額) 3,943千円

#### (1) 研究・研修事業

##### ① 研究会等への参加および開催

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等へ参加および開催する。また学会等へ参加し研究成果を発表する。

31年度計画 26回(30年度見込 23回)

##### ② 研究事業への協力

がん検診を県下一元的に実施していることを生かし、各研究への協力を行う。

- ・子宮頸がん検診の未受診者に対する自己採取HPV検査の有用性検証への協力
- ・乳がんの適切な情報提供に関する研究への協力

## (2) 広報活動

- ① ふくい健康の森利用者へのサービス還元  
リピーターの確保とサービス向上にむけ、利用還元イベントを実施する。
  - ・けんこうスポーツセンター施設無料開放イベント（福井テレビイベントとの同時開催）
- ② 健康管理協会、ふくい健康の森の広報の強化  
チラシや紙面による広報手段から LINE 配信へとシフトし、SNS の活用による効率的な情報発信に努める。また直接訪問による PR 活動を実施し、効果のある広報を行う。
  - ・各種関係団体や競技団体への訪問活動（ウォーキング協会、スケート協会ほか）
  - ・具体的な利用モデルプランによる利用者目線での広告
  - ・県下全域へ情報誌「健康の森通信」の発行（4回／年）、LINE による定期的な情報配信

## 4. 法人管理

健康管理協会の法人運用に関する業務で法人全体の管理、運営等を行う。  
事業経費（総額 5, 528 千円）